

大江山中学校区 情報活用能力（情報活用の実践力）指導体系表

		1・2年	3・4年	5・6年	1年	2年	3年
つかむ	課題設定	①-1 調べたいことを選んで決める。 ・ボーンチャート, くま手チャート (アイデアを広げる)	①-2 身の回りの課題から, 調べる内容を見付ける。	①-3 身の回りの課題から, 解決すべき内容を選ぶ。 ②様々な情報から発想を広げていく。	①-4 学校などの自分を取り巻く社会の中での課題を見つける。	①-5 地域などの自分や仲間を取りまく社会の中での課題を見つける。	①-6 国や世界などの広い範囲での課題を見つける。
	学習計画		①-1 効果的な調べ方について見通しをもつ。	①-2 仮説を立てて学習の見通しを立てる (適切な方法を自分で選び, 計画を立てる)。 ・フローチャート (順序)	①-3 仲間と相談しながら適切な学習計画を立てる。	①-4 自分と他者の学習計画を比較・検討しながら学習計画を立てる。	①-4 自分と他者の学習計画を比較・検討しながら学習計画を立てる。
調べる	図書資料以外の方法	①観察記録 ②-1 人に聞く (インタビュー) ・分からないことは聞く。 ・分からないときはもう一度聞く。	②-2 人に聞く (インタビュー) ・質問は1つか2つに決める。 ・事前に聞きたいことを絞る。 ・インタビューのマナーを理解する。 ②-3 人に聞く (アンケート) ・質問と答えの予備をたてる。 ③地図, 写真, 実物, パンフレット, リーフレットなどの具体的資料で調べる。 ④インターネットの使い方 (検索方法) を理解する。	⑤新聞で今の情報を得る。 ⑥複数のメディア (媒体)・複数の情報源にあたる。 ・地図帳や地球儀, 統計や年表などの各種の基礎的資料で調べる。	⑦様々な立場の人へのインタビューをする。 ・異なる立場の方の意見や考え方を比較・検討する。	⑧インターネットを利用する ・効果的な検索方法や課題に対して適切な利用サイトなどを理解する。	⑧インターネットやメディアを利用する ・アーカイブ等を利用したりしながら情報を精査する。 ・複数サイトで情報を比較する。
	図書資料の利用	①図鑑の使い方を理解する (目次・索引の使い方を理解する)。 ②百科事典の使い方を理解する (百科事典を引く)。	③国語辞典 漢字辞典の使い方を理解する。 ④分類を知り, 活用する。 ⑤情報源 (著者名・発行者名) をもとにもう一度探す。	⑥必要な情報を複数の図書資料からあたる。	⑦複数の分類から必要な情報を集め, 比較・検討する。	⑧司書と相談したりしながら必要な情報を追加する。	⑨雑誌や新聞で最新の情報と比較しながら情報を収集する。
	情報の記録	①-1 基本的な記録の仕方を習得する。 ・「問い」(知りたいこと)とその「答え」, 「書名」「聞いた人の名前」を情報カード等を書く。 ・必要な事柄だけを書く。短い言葉で書く。 ②-1 写真で記録する。 ④-1 記録したものを蓄積する (ポートフォリオ)。	①-2 情報源(出展)の書き方を習得する。 ・奥付を見て「著者名と発行名」を情報カード等を書く (ウラを取る) ①-3 調べたことと自分の考えを区別する。 ・引用の意味を理解し, 仕方を習得する。 ・要約の意味を理解し, 仕方を習得する。 ・著作権を理解する。 ②-2 効果的な写真や動画で記録する。 ③-1 付箋を使ったり, マーカー等で線を引いたりする。 ④-1 ポートフォリオ (主に紙媒体) を活用して記録を蓄積, 整理する。	①-4 複数の情報を整理・分析しやすいように記録する。 ・データチャート (理由付け, 分類・分析・整理) ②-3 目的に応じた写真や動画で記録する。 ④-2 デジタルポートフォリオ (個人フォルダ・個人クラウド・ロイロノート等) を活用して記録を蓄積, 整理する。	①-5 情報源を整理して記録する ②-4 デジタルデータを活用しやすいようにフォルダで分類するなどして保存する	①-6 集めた情報の重要度を考えて整理する ③-2 情報を可視化できるようにキーワード等でまとめて管理する	①-7 情報の発信者や発信時期などを踏まえて整理する。
	情報の整理・分析	①-1 集めた情報を比べて, 相違点を見付けたり, 分類・弁別したりする。 ・X, Yチャート (分類, 弁別) ②-1 見つけた相違点から, 感想や考えを導き出す。	①-2 集めた情報から, 特徴や新たな気付きを見付ける。 ・ベン図 (比較・分類), ボーンチャート (多面的にみる), くらげチャート (理由づけ・関係づけ・要約) ②-2 見つけた特徴や新たな気付きをも	①-3 集めた情報から, 類推し, 新たな疑問や課題を見付けるとともに, 解決策を探る。 ・イメージマップ (広げる, 関係・関連) ※ロイロノート等を使う。	①-4 集めた情報から課題を振り返り, 別の視点や問題点を探る	①-5 集めた情報を効果的に可視化できるように, 仲間と相談しながら目的に応じて複数の表やチャートを使い分ける	①-6 集めた情報を俯瞰し, 自分で適切な表やチャートを利用する

			とに、自分の考えを導き出す。	②・3仮説を立てて整理・分析をする。 ・フローチャート（構造化） ③資料の特性に留意して情報を読み取る。			
まとめる	情報のまとめ方	報告文、絵日記、手紙、絵カード、紙芝居、クイズ、紹介文、劇	報告書（レポート）、リーフレット、新聞、小冊子、意見文、ポスター、案内文、説明文	論文、解説文、提案文、推薦文、随筆、プレゼンテーション資料	表やチャート、ポスター	プレゼンテーション	発表対象者や発表形態などから、アナログ・デジタルなど最適な方法を使い分ける
	情報の加工・表現	①調べたことに感想を入れてまとめる。 ②順序を表す言葉を使う。	③事実と意見を区別してまとめる。 ④引用する部分にかぎ（「」）をくくると、引用部分を適切な量にすること、必要に応じて文章や絵、写真、図表、グラフなどを引用する。 ⑤調べた目的や方法、調べた結果と自分の考えを明確に書く。	⑥目的に合わせた方法で、事実と考えや感想を区別してまとめる。 ⑦必要な情報を整理して、白地図や年表、図表などに効果的にまとめる。	⑧必要に応じて追加情報をインターネット等で利用して集める	⑨情報をデジタル化し、プレゼンテーションに使用できるようにする	⑩プレゼンテーションと寸劇など、発表を意識して情報のまとめ方を工夫する
	推敲	①大事どころが落ちていないか、主述関係が正しいかどうか確かめる。	②相手や目的に応じた内容になっているか、自分の考えが明確に表されているか等を確認する。	③自分の考えなどを明確に表しているか、相互関係が明確な構成であるか、表現の曖昧なところはないか等を確認する。	④課題設定から解決までの流れが明確であるか確かめる	⑤伝えたい相手に対して適した内容であるかを踏まえ、自分の考えが論理的であるか確かめる	⑥様々な考え方から自分の意見を導き出したプロセスや、自分の意見を補強するデータや資料が揃っているか確かめる
伝え合う	発信	①情報手段を使って、自分の思いを伝える。 ・実物、写真やまとめたものを見せながら伝える。	②情報手段を使って、分かりやすく伝える。 ・資料の出し方を工夫しながら伝える。	③情報手段を使って、意見交流を図り、考えを広げたりまとめたりする。 ・資料をもとに根拠や理由を明確にしながら伝える。	④情報手段を使って相手の反応を見ながら言葉を言い換えたり、情報を追加したりする。		
	受信	①聞き方マナーを習得する。 ②大事なことを落とさずに聞く。 ③分からないときはもう一度聞く。	④自分の考えと比べながら聞く。	⑤意図を組みながら聞く。 ・相手の考えを理解するために、大事な言葉（結論・理由）をメモしながら聞く。 ・結論や理由の根拠は何か意識し、確認しながら聞く。 ・よりよい考えを導き出すことを意識して様々な考えを聞く。	⑥自身の考えとの共通点や相違点に着目して聞く。またそこでの新たな疑問点などを整理しながら聞く。		
	交流	①話題に沿って話し合う。 ②感想を伝え合う。	③共通点や相違点を考えながら話し合う。	④立場や意図をはっきりさせて計画的に話し合う。 ・ポスターセッション、討論会等	⑤自他の考えを尊重しつつ、異なる意見に至ったプロセスや、同じ結論でもプロセスの違いなどに着目して意見交流を行う。意見を整理しつつ全体での結論を出そうとする。		
振り返る	学習活動の評価	①-1 調べ方やまとめ方、発表の仕方を振り返る。 ・よかったところや改善点を見付け合う。 ・次がんばることを見付ける。	①-2 「つかむ」「調べる」「まとめる」「伝え合う」の学習の過程と結果について評価する。 ・自己評価や相互評価から、成果と改善点を見付け、次の目標を確認する。	①-3 「つかむ」「調べる」「まとめる」「伝え合う」の学習の過程と結果について評価する。 ・自己評価、相互評価をもとに、根拠を示しながら成果と課題を見付ける。 ・情報活用の在り方について、自分を見つめ直し、自分の今後について考える。	①-4 「つかむ」「調べる」「まとめる」「伝え合う」の学習の過程と結果について評価する。 ・自己評価、相互評価、意見交流をもとに成果と課題を整理する。 ・自身の考えが深まったり、変化したきっかけに注目したりして振り返りを行う。		